

令和 7 年度第 2 回調布市環境保全審議会結果

| | |
|-------|--|
| 日 時 | 令和 7 年 8 月 8 日（金） 10:00～12:00 |
| 場 所 | 文化会館たづくり 10 階 1002 学習室 |
| 出席者 | 委員：11 名 |
| 議 題 | <p>1 報告事項</p> <p>(1) 令和 7 年度版調布市環境白書（案）について</p> <p>(2) 第 2 回調布市環境基本計画策定委員会の実施結果について</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 次期環境基本計画の骨子（案）について</p> <p>(2) 調布市地球温暖化対策実行計画の骨子（案）について</p> |
| 事務局説明 | <p>■次期環境基本計画骨子（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間は令和 8～17 年度（10 年間）とし、必要に応じ中間見直しを行う。 ・基本理念は現行を継承しつつ「将来世代」を明確化。将来像のキーワード案を 5 案例示。 ・基本目標（案）は 5 本の柱とし、①水・緑・生物多様性、②身近な生活環境、③脱炭素、④資源循環、⑤環境学習・協働とする。 ・重点プロジェクトの位置づけ、推進体制・進行管理（PDCA）を章立てて整理予定。 <p>■地球温暖化対策実行計画骨子（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区域施策編と事務事業編を統合し、適応策を強化する。 ・次回、施策別削減量の試算と「脱炭素シナリオ」を提示予定。 |
| 委員意見 | <p>■次期環境基本計画骨子（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念や将来像は主語・語感を整え、読み手に伝わる構成に。類似語の重複整理や「快適な空間」の範囲を明確化するように（大気・騒音・景観等）。 ・施策体系について、脱炭素と資源循環は柱としては分けつつも、運用・進捗管理上は連動を担保することを求める。 ・崖線樹林地（国分寺崖線）等の保全姿勢を計画本文においても明確化するように。 ・社会的動向において汚染（PFAS 等）を独立の項目としての明示を検討するように。 ・見える化・参加として、市内の環境配慮情報（農産物、店舗取組、回収拠点、印刷の認証等）の一元化や可視化を図ってはどうか。 ・事業者向けに行動メニュー、報告・支援の枠組みを具体化してはどうか。 <p>■地球温暖化対策実行計画骨子（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標と裏付けについて、2030・2035 目標の達成には削減積上げの根拠と「脱炭素シナリオ」のロードマップを提示するように。再エネ購入偏重とせず、省エネ・創エネ・広域連携を含む多層的手段を検討することを求める。 ・廃棄物部門について、リサイクルのみならず発生抑制を軸とするように。計上方法や一部事務組合との関係を整理し明確化することを求める。 ・適応策について、暑熱・健康、防災・インフラ、生態系影響等の重点化と、短期～中期の対策についてメニュー化してはどうか。 ・住宅統計等を用いた、断熱回収等の導入余地の把握と、学校と連携した家庭でのエネルギー消費データの収集について検討するように。 |